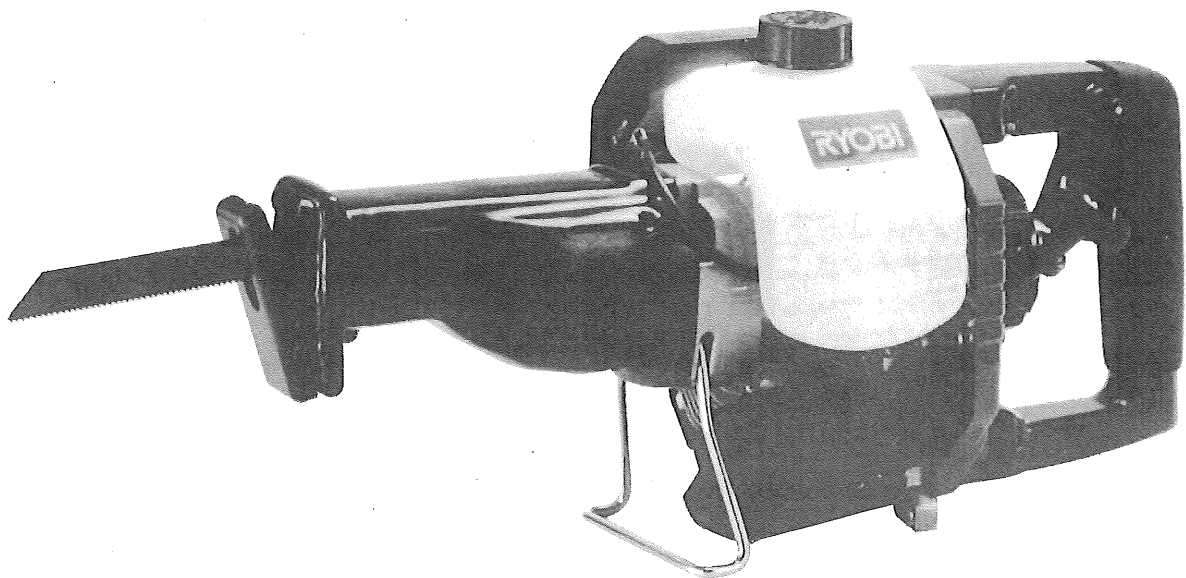


エンジンレシプロソー

取扱説明書 EJ-100



ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用下さるようお願いいたします。

安全に注意して，正しく

ご使用前は

- ・服装はすそじまりをよくし、目、耳、等の防護具を使用して、軍手が厚手の手袋をはめましょう。
- ・説明書をよくお読み下さい。子供や説明をうけていない人には運転させないようにして下さい。
- ・機械はいつもきれいにしておきましょう。特に燃料タンクのまわりはよく拭いて下さい。

ご使用中は

- ・始動したり、運転したりする時は周囲に充分注意して必ず一人で(補助者なしで)操作して下さい。
- ・機械の稼動部に不用意に手はもちろんのこと、身体や衣服を近づけることは大変危険です。
- ・本体は両手でしっかりとハンドルをにぎり、両足を開いて安定した体勢で使用して下さい。
- ・作業を中断したり、移動する時は、必ずエンジンは停止しておきます。
- ・製品は大事に取扱って下さい。誤って落したりぶつけた場合は、すぐ止めて異常の有無を調べ、状況によっては整備した後に使用するようして下さい。
- ・屋内で作業をする場合必ず、窓を開けるなど換気をよくして作業を行って下さい。

安全な服装(手袋・すそじまりのよい)

仕 様

機 種			E J - 1 0 0
寸 法	長さ×幅×高さ	mm	430×200×210
重 さ	本機乾燥重量	kg	5.0
エ ン ジ ン	形 式		強制空冷2サイクル単シリンダー
	排 気 量	cc	15.9
	キャブレタ		ダイヤフラム式
	マグネット		フライホイールマグネット：電子点火方式
	スパークプラグ		NGK BM-6A
	始 動 方 式		リコイルスターター
燃 料	混 合 比		(ガソリン) 20~25:1 (2サイクル専用オイル)
	タンク容量	ℓ	0.35
ストローク数		s.p.m.	0~2000
ストローク量		mm	26
切 削 能 力	木 材	mm	90
	パイプ	mm	90
通 常 附 属 品			六角棒スパナ 4mm
			ブレード 鉄工用 No.51 1本
			鉄工用 No.52 1本
			木工用 No.53 1本
			ボックスレンチ
			⊕ドライバー
			スパナ

「使用いただくために……」

燃料について

- ・燃料は引火しやすいので注意して取扱いましょう。
- ・燃料補給や手入れをしている時には、絶対にタバコを吸ったり、火気を近づけたりしないで下さい。
- ・補給は必ず、エンジンを停止し、冷えてから実施して下さい。

ご使用後は

- ・機械全体を清掃します。
- ・ネジ類のゆるみ、部品の破損、摩耗、キャブレタのまちがった調整などは色々な障害の原因になります。点検をし、完全に整備してからご使用下さい。
- ・長期間格納するときは、タンク内の燃料を抜いてからエンジンを始動させ、自然に停止するまで運転して下さい。停止後は安全できれいな場所に保管して下さい。
- ・補用部品はすべて指定の純正部品をご使用下さい。

・防護眼鏡)・よく整備された機械で

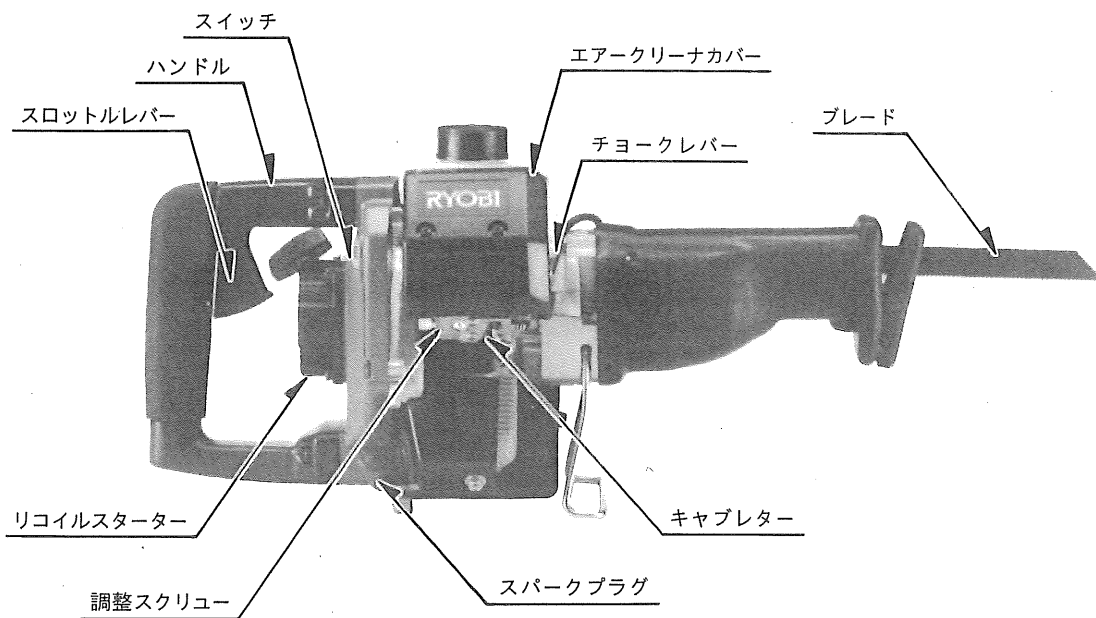
○特別附属品(別販売)

ブレード	鉄工用 No.51	5枚入
	鉄工用 No.52	5枚入
	木工用 No.53	5枚入
	鉄工用 No.54	5枚入
3本組セット		
(No.51、No.52、No.53 各1本入)		

用 途

- ・パイプ、アングル、サッシ、ALC等の切断
- ・各種木材、合成樹脂の切断
- ・軟鋼、アルミ、銅、黄銅等各種金属の切断

各部



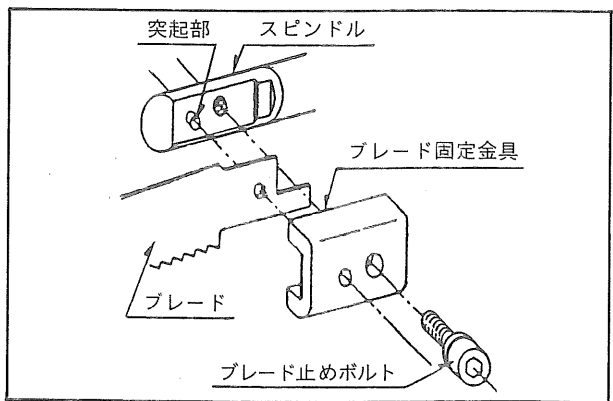
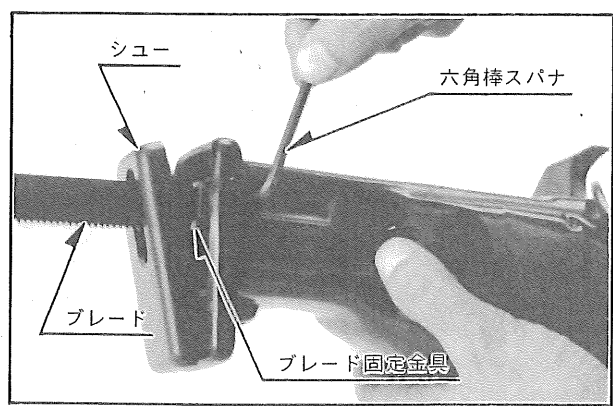
使用準備

○ブレードの取付け

- ・ブレード止めボルトを付属の六角棒スパナでゆるめます。(この場合3～4回転ゆるめれば、ブレードの取付けはできます。)
- ・ブレード固定金具とスピンドルの間にブレードをさし込みます。
- ・スピンドルの突起部にブレードの穴を合せます。
- ・六角棒スパナでブレード止めボルトをしっかりと締付けて下さい。

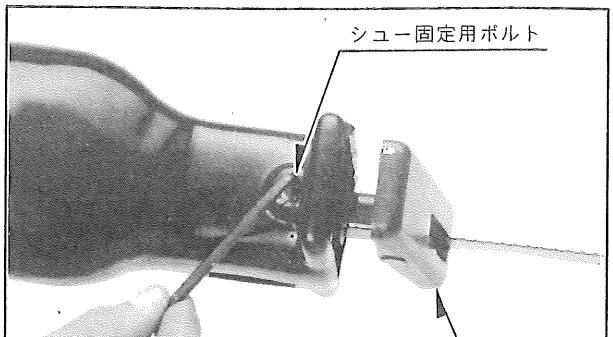
〈注意〉

ブレード取付けの時は、必ずスイッチを“STOP”にして下さい。



○シューの調整

- ・シューの位置を調整し、使用する部分を変えることにより、ブレードを有効に使用できます。
- ・シューの調整は、ギヤケース下部のシュー固定用ボルトをゆるめて行なって下さい。ご使用になる時は、シュー固定用ボルトをしっかりと締付けて下さい。



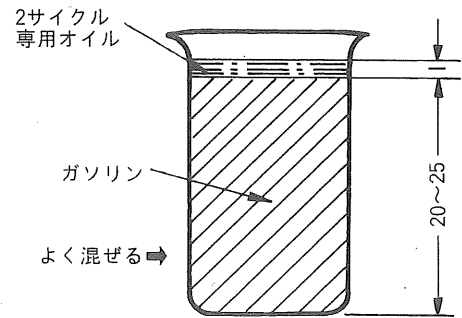
運 転

○燃料


- ・ガソリンと2サイクル専用オイルを混ぜた混合燃料です。
- ・ガソリン20～25に対し、専用オイルを1の割合で混合して下さい。
- ・2サイクル専用オイル及び指定された混合比以外の燃料は、エンジン不調の原因となりますので使用してはいけません。

〈注意〉



購入後2～3ヶ月以上経過した古い燃料は、エンジン不調の原因となりますので新しい燃料をご使用下さい。

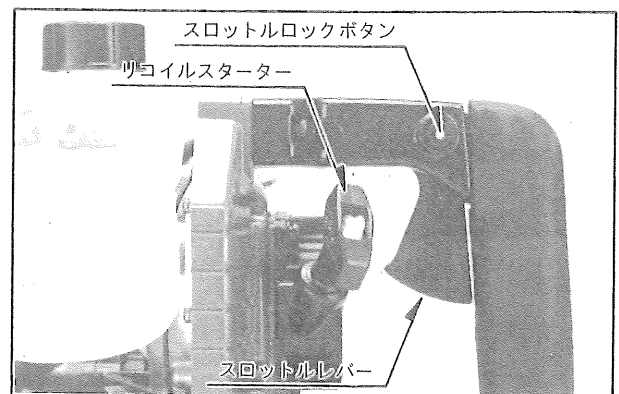
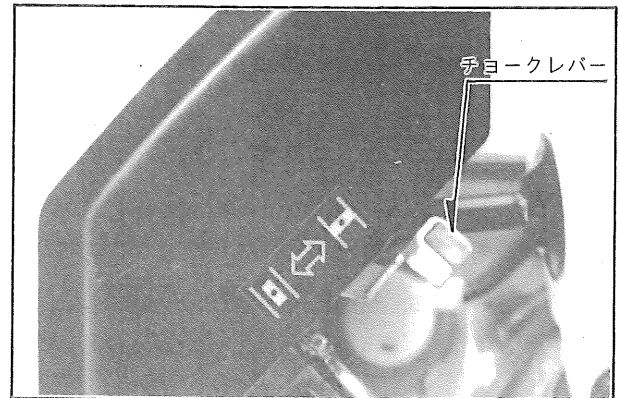
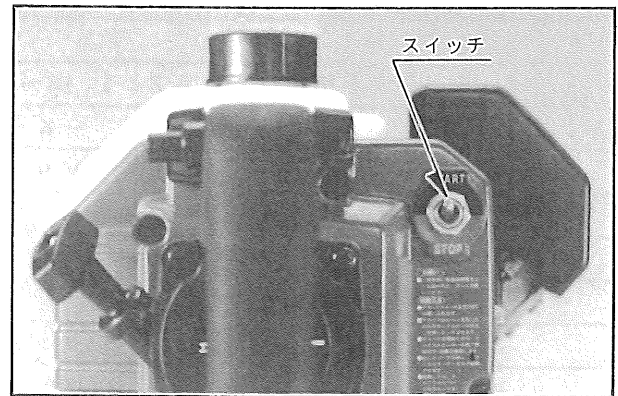


○始動 周囲に障害物がないことを確認して下さい。

- (1)燃料を燃料タンクに入れて下さい。
- (2)スイッチを“START”の位置にします。
- (3)チョークレバーを全閉()の位置にします。
もしエンジンが暖まっている時、又はエンジン停止の後であれば、チョークを閉にする必要はありません。
- (4)スロットルレバーを引いた状態にしてスロットルロックボタンを押し、スロットルレバーを離します。スロットルロックボタンは押し込まれた状態でロックし、スロットルレバーは若干引かれた状態になることを確認下さい。
- (5)リコイルスターターグリップを握り、エンジンが初爆するまで勢いよく引いて下さい。

〈注意〉

- ・もし6回リコイルスターターグリップを引いても初爆が無ければ、チョークレバーを全開()の位置にします。
 - ・リコイルスターターグリップを再度6回以上引いても始動しない場合は、再び(3)から繰り返して下さい。
- (6)初爆したらチョークレバーを全開()の位置にします。
 - (7)リコイルスターターグリップを勢いよく引くとエンジンが始動します。

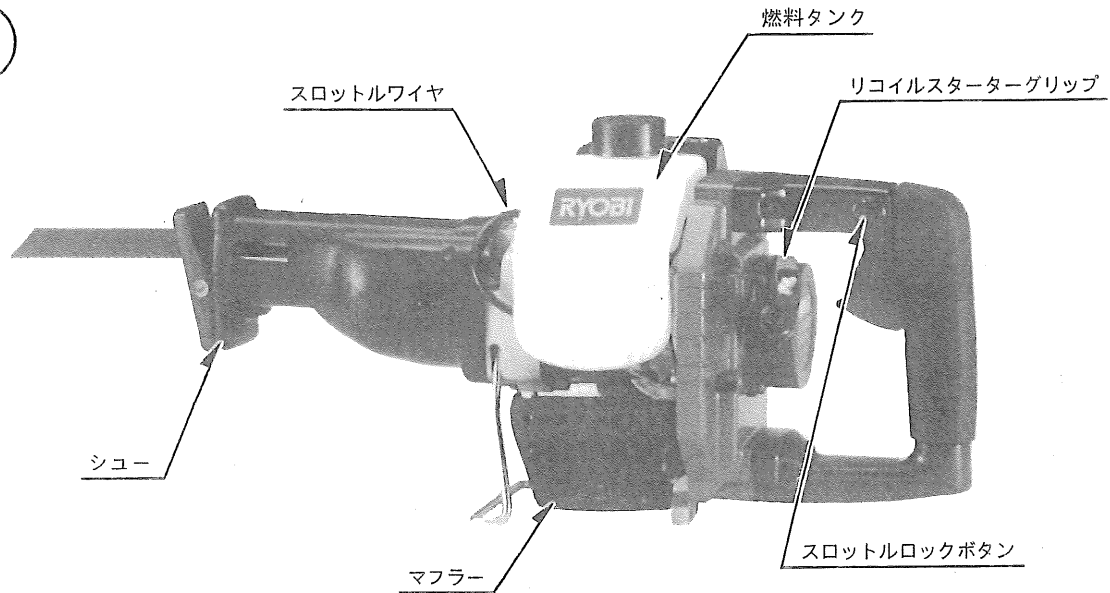


○運転と停止

- ・エンジンが始動したら3分間ぐらい、そのまま暖機運転をして下さい。
その後、スロットルレバーを徐々に握りエンジンの回転を上げてゆきます。(スロットルレバーを引くとスロットルロックボタンは解除されます。)
- ・エンジンを停止する時は、スイッチを“STOP”の位置にします。

スロットルロックボタンはエンジンの始動時のみに使って下さい。スロットルをロックしたまま使用してはいけません。

名称



正しい操作法

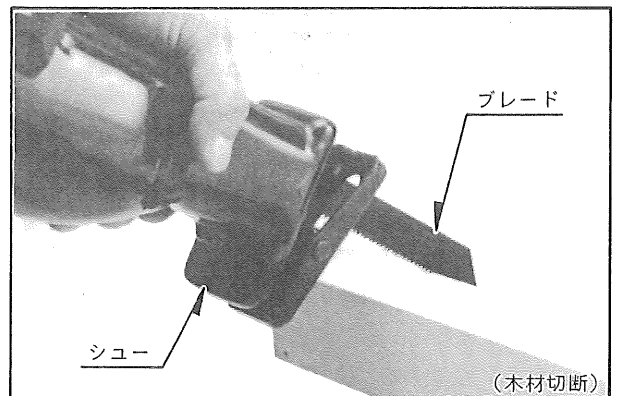
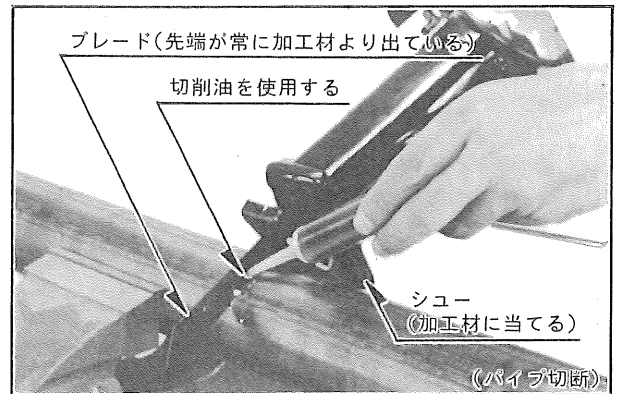
安全な服装・よく整備された機械で

○切断方法

- ・加工材をしっかり固定し、シューを切断用ガイドとして加工材に押し当てて作業して下さい。
- ・金属切断の場合は、適切な切削油(マシン油等)を使用して下さい。ブレードの寿命に大きく影響します。

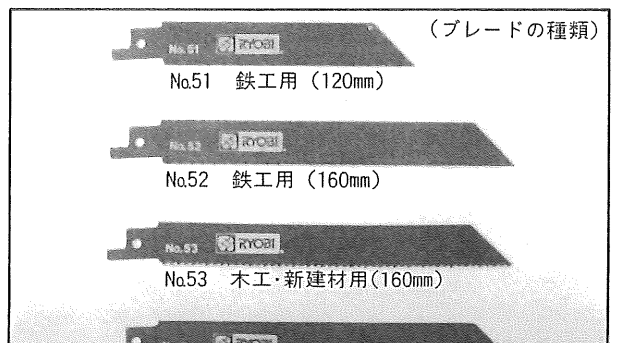
〈注意〉

- ・加工材に適したブレードを使用して下さい。
- ・無理な力を加えないようにし、ブレードの先端が常に加工材より出ている状態で切断して下さい。又、壁際など障害物の近くで作業する場合は、ブレードの先端が障害物に当たらないように注意して下さい。ブレードが折損する恐れがあり危険です。



○ブレードと加工材

- ・加工材に適したブレードを使用して下さい。
- ・常に切れ味の良いブレードを使用して下さい。



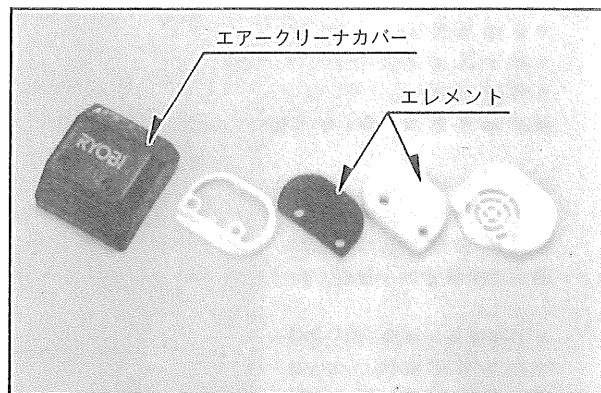
(ブレードの種類と加工材)

ブレードNo.	加工寸法	加工材料
No.51	3mm以下の鋼板 直径50mm以下のパイプ	軟鋼、銅、アルミ、黄銅等各種金属 ベークライト、塩ビ等合成樹脂
No.52	3mm以上の鋼板 直径90mm以下のパイプ	軟鋼、銅、アルミ、黄銅等各種金属 ベークライト、塩ビ等合成樹脂
No.53	厚さ90mm以下の材料	各種木材、新建材等
No.54	3mm以下の鋼板 直径90mm以下のパイプ	軟鋼、銅、アルミ、黄銅等各種金属 ベークライト、塩ビ等合成樹脂

点検と整備

○エアクリーナ

- ・エアクリーナの元素が目詰りするとエンジンの出力が低下します。又、始動不良にもなりますので、使用前には汚れていないか確認して下さい。
- ・エアクリーナカバーを外し、元素を取り出し、ガソリンでよく洗浄し、固く絞ってからエンジンオイルに浸し、もう一度固く絞ってからケースに組み込みます。



○キャブレタ

- ・出荷時に燃料調整がされていますので、不必要に調整スクリューを動かしてはいけません。
- ・燃料調整の標準は、次のとおりになっています。
 - 高速調整スクリュー(H) : $1\frac{1}{4} \pm \frac{1}{8}$
 - 低速調整スクリュー(L) : $1\frac{1}{4} \pm \frac{1}{8}$
 この数値は、調整スクリューを右に静かに回し、全閉にした時からの戻しの回数を示します。
- ・アイドル調整スクリューは出荷時に調整してありますので、特に調整の必要はありません。



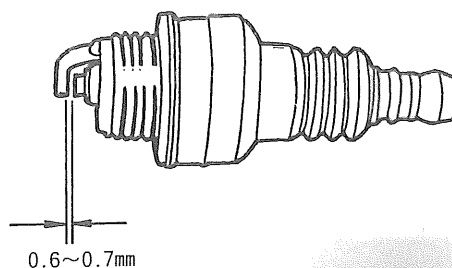
○燃料ストレーナ

- ・ストレーナがつまっているとエンジンの回転が上がらない原因になります。針金などを使ってストレーナを燃料注入口から引き出して点検、清掃して下さい。
- ・点検、清掃後ゴムパイプが折れ曲がらない様にストレーナをタンク内に戻して下さい。
- ・この時、ストレーナがタンクの底についていることを確認して下さい。



○スパークプラグ

- ・スパークプラグの適正な電極間隙は0.6~0.7mmです。常に適正な間隙を保ち、カーボンや油などによる汚れに注意して清掃の上ご使用下さい。



この製品は、一貫した品質管理のもとに組立てられ、厳密な検査に合格した製品です。万一の故障の場合、その他取扱上ご不明な点があった場合にはご遠慮なくお買い上げ店、最寄りのリョービ電動工具販売店、もしくは下記リョービ東和(株)営業所にお問い合わせ下さい。

- 本社 ☎464 名古屋市千種区春岡通り7丁目49番地 ☎(052)761-5111(大代) ファクシミリ (052)762-9421
テレックスNo.447-3680RYOBIJ
- 北海道営業部 ☎003 札幌市白石区東札幌二条2丁目3番17号 ☎(011)841-9241 ファクシミリ (011)812-3752
- 旭川営業所☎(0166)32-8561 ●札幌営業所☎(011)812-3751 ●函館営業所☎(0138)41-1100
- 東北営業部 ☎983 仙台市卸町東3丁目1番1号 ☎(022)288-8061 ファクシミリ (022)288-0560
- 青森営業所☎(0177)81-2777 ●秋田営業所☎(0188)63-4177 ●仙台営業所☎(022)288-8061
- 山形営業所☎(0236)42-9552
- 東日本営業部 ☎101 東京都千代田区外神田3丁目15番1号 ☎(03)257-1600 ファクシミリ (03)257-1607
- 郡山営業所☎(0249)59-2670 ●前橋営業所☎(0272)34-1050 ●宇都宮営業所☎(0286)24-6862
- 茨城営業所☎(02992)4-2631 ●埼玉営業所☎(0486)24-4605 ●東京北営業所☎(03)927-5571
- 三多摩営業所☎(0425)64-0343 ●千葉営業所☎(0472)42-1330 ●横浜営業所☎(045)921-5252
- 東京神田営業所☎(03)255-2905 ●東部H.I.営業所☎(0486)22-3177 ●神奈川H.I.営業所☎(0462)29-0272
- 千葉H.I.営業所☎(0472)43-3123
- 東海営業部 ☎464 名古屋市千種区春岡通り7丁目49番地 ☎(052)762-0554 ファクシミリ (052)762-9473
- 岐阜営業所☎(0582)71-5538 ●松坂営業所☎(0598)51-9022 ●四日市営業所☎(0593)31-3426
- 名古屋営業所☎(052)762-0924 ●静岡営業所☎(0542)46-6907 ●浜松営業所☎(0534)72-3937
- 沼津営業所☎(0559)63-0329 ●三河営業所☎(0564)25-2381 ●中部H.I.営業所☎(052)762-0924
- 関西営業部 ☎538 大阪市鶴見区諸口1丁目6番18号 ☎(06)912-7115 ファクシミリ (06)912-1280
- 福知山営業所☎(0773)27-0533 ●和歌山営業所☎(0734)72-8074 ●東大阪営業所☎(06)912-7731
- 姫路営業所☎(0792)88-0755 ●京都営業所☎(075)311-8336 ●大阪営業所☎(06)395-1515
- 彦根営業所☎(0749)23-0279 ●西部H.I.営業所☎(06)395-1719
- 中国営業部 ☎736 広島市安芸区船越南3丁目7-29 ☎(082)823-0310 ファクシミリ (082)823-4180
- 米子営業所☎(0859)29-1051 ●岡山営業所☎(0862)41-2581 ●広島営業所☎(082)292-4371
- 広島東営業所☎(082)823-8031 ●福山営業所☎(0849)43-5656 ●防府営業所☎(0835)22-6448
- 北信越営業部 ☎950 新潟市大形本町19番地1 ☎(0252)73-8335 ファクシミリ (0252)75-9615
- 長岡営業所☎(0258)32-0856 ●富山営業所☎(0764)32-6281 ●金沢営業所☎(0762)68-7516
- 福井営業所☎(0776)21-4037 ●新潟営業所☎(0252)75-3321 ●長野営業所☎(0262)44-3595
- 松本営業所☎(0263)26-8699
- 九州営業部 ☎816 福岡市博多区東那珂1丁目15-59 ☎(092)474-2825 ファクシミリ (092)441-0833
- 福岡営業所☎(092)411-2009 ●北九州営業所☎(093)561-7206 ●佐賀営業所☎(0952)26-5656
- 熊本営業所☎(096)381-3162 ●宮崎営業所☎(0985)24-1070 ●鹿児島営業所☎(0992)54-5743
- 長崎営業所☎(0958)39-5466 ●沖縄営業所☎(0988)62-0183
- 四国営業部 ☎790 松山市井門町54-10 ☎(0899)56-3330 ファクシミリ (0899)57-0986
- 高松営業所☎(0878)86-1299 ●徳島営業所☎(0886)25-9770 ●高知営業所☎(0888)66-2628
- 松山営業所☎(0899)56-3330

(昭和61年11月現在)

※改良のため製品仕様の変わる事があります。

発売元



製造元

